

“わたしのまち”

キャロットタワーからの世田谷区の眺望。  
区内には多くの自然が残されている

# 世田谷区

## 歩いて楽しむまち世田谷

（みどりを身近に感じる世田谷区）

世田谷区には、歴史や文化を感じながら散策を楽しむことができる場所がたくさんあります。まちなかの緑道やせせらぎ、人々が憩う公園、自然が色濃く残る国分寺崖線。地域ごとに異なる風景が趣となって、訪れる人々を迎えてくれます。今回は、歴史や文化にふれながら歩く、みどりいっぱいのおすすめ散策スポットを紹介します。



### 世田谷区のみどりと環境

#### みどり豊かな世田谷区

区内には、下北沢のように若者に人気のまちや、二子玉川のようにファミリー層でにぎわうまちがあり、都心へのアクセスが良いことから住宅地をイメージする方が多いようです。一方で、緑被率22・89%、みどり率24・60%と23区内でも高水準のみどりの豊かさを保っており、さまざまな場所で自然を身近に感じることができるのも特徴のひとつです。

そこで、区内5つの地域から、恵まれた自然環境、季節の移ろいを感じられるおすすめスポットを紹介します。

#### 区内のおすすめ散策スポット

##### 烏山川緑道（世田谷地域）

烏山川緑道は、船橋から三宿までの全長約7kmの遊歩道で、樹木を大切に維持しながら散策しやすいよう整備されています。緑道周辺には、豪徳寺、世田谷城址公園、松陰神社、太子堂円泉寺など、歴史にゆかりのある神社仏閣があります。緑道の途中にある宮坂一丁目には万葉の小径があり、万葉集に詠まれた草花が植えられ、はるか昔の世田谷の地に思いを馳せることができます。



烏山川緑道周辺には、豪徳寺、世田谷城址公園、松陰神社、太子堂円泉寺など、歴史にゆかりのある神社仏閣がある



8月15日にはせたがや未来の平和館も開設された世田谷公園



せせらぎが整備された北沢川緑道



梅の季節は特に趣きある雰囲気の羽根木公園

◆おすすめスポット

世田谷公園

約7万9000㎡の広い敷地には、みどりを感じて走ることができるジョギングコースがあり、そのほかにもスポーツ施設や噴水広場、プレーパーク、ミニSLの運行もあることから近隣の方やファミリー層に人気のスポットです。また、園内には「平和の灯」、「平和の祈り像」といった平和モニュメントや「被爆二世の木」もあり、戦後70年の平和都市宣言から30年の節目の年にあたる平成27年8月15日に、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくことを目的とした、平和資料館（愛称…せたがや未来の平和館）を開設しました。

北沢川緑道（北沢地域）

北沢川緑道は、赤堤から代田・代沢・池尻までの全長約4・3kmで、道沿いにさまざまな樹木や草花が植えられ、四季折々の花を楽しむことができます。遊歩道です。

小田急線の経堂駅付近から豪徳寺駅付近まではユリの木並木となっており、豪徳寺駅付近からは、ツバキ、クチナシ、ツツジ、アジサイなどの花々が季節の移ろいを感じさせ、訪れた人を和ませてくれます。

環状七号線から淡島通りまでの間には約150本の桜並木があり、春先は桜の花を楽しむ人々にぎわいます。また、環状七号線から目黒川緑道合流地点までの間は、かつて川があった名残を感じさせるせせらぎが整備されています。

環状七号線から淡島通りまでの間には約150本の桜並木があり、春先は桜の花を楽しむ人々にぎわいます。また、環状七号線から目黒川緑道合流地点までの間は、かつて川があった名残を感じさせるせせらぎが整備されています。

◆緑道沿いおすすめスポット  
羽根木公園

都会の中に居ながら水辺と自然を感じることができる貴重な場所として、地域の人々にも親しまれています。

約8万㎡の広さを持つ羽根木公園は南側の斜面には約650本の梅林があり、毎年2月には「せたがや梅まつり」が行われます。園内には、和室「星辰堂」、茶室「日月庵」があり、春先の梅と調和した佇まいが印象的です。

等々力溪谷（玉川地域）

東京都指定名勝で東京23区唯一の溪谷である等々力溪谷は、都心からも近く自然にふれることができます。区内外から多くの人が訪れます。

春は梅や桜から新緑へと移り、秋口は溪谷内のイロハモミジが赤く色づくなど、四季折々の多彩な溪谷の表情を楽しむことができます。

また、溪谷内には不動の滝、日本庭園、等々力不動尊があります。

溪谷のある玉川地域は多摩川沿いに位置し、国分寺崖線などに豊かな自然が残るほか、武蔵野れき層などの地層を見ることもできます。東京都指定史跡の野毛大塚古墳などの石器時代や古

東京23区唯一の溪谷となる等々力溪谷

二子玉川公園には区立公園初の本格的な日本庭園がある（画像は復元された「旧清水邸住宅書院」）



墳時代の遺跡が分布しており、みどりと歴史の両方を感じることができるとも、この地域の特色のひとつです。

◆等々力溪谷周辺のおすすめスポット  
二子玉川公園

東京の西の玄関口として整備・発展する二子玉川駅周辺は、商業施設、オフィス、そして住宅街区の再開発事業が進んでいます。一方、地域の憩いの場となっているのが隣接する二子玉川公園です。

平成25年4月14日に開園したこの公園は国分寺崖線のみどりと多摩川の水辺に囲まれた場所に位置しており、自然の豊かさが特徴です。

園内には、区民と協働で植樹した約1400本の苗木が育つ「世田谷のちの森」があります。また、区立公園初の本格的な日本庭園があり、その一部には世田谷区登録有形文化財に登録された「旧清水邸住宅書院」を復元しています。

### みどりのフィールドミュージアム(砧地域)

区の西部に位置する砧地域は、住宅地と農地が混在しており、多摩川沿いの平地と野川沿いに湧く貴重な湧水、まとまった樹林地を持つ国分寺崖線によつて区内でも緑被率が高い、みどり豊かな地域です。

区では、世田谷の自然や生きものについての関心と知識を深めてもらうため、砧地域の喜多見四・五丁目を、地域全体(フィールド)をひとつの博物館(ミュージアム)として捉えた「みどりのフィールドミュージアム」と定めています。また、東京都からは「農の風景育成地区」としての指定を受けています。

次大夫堀公園民家園には農村の原風景が残されている



このフィールドミュージアムでは、この地域の自然環境の紹介だけではなく、江戸・東京の食料供給の場としての農の歴史が古く、文化財も数多く残る喜多見のまちの由来や地域性、行事に至るまで幅広く知り、体験することができます。

なお、周辺には都立砧公園や世田谷美術館、映画撮影所などの施設もあり、散策の際に足を延ばしてみるのも楽しみのひとつです。

### ◆散策の際に寄りたい場所 次大夫堀公園民家園

昭和63年11月に開園した次大夫堀公園民家園は、名主屋敷(主屋1棟、土蔵2棟)、民家2棟、表門などを復元し、公園内の水路や水田とあわせて、江



烏山寺町界隈にある「烏山つつじ緑地」は、春先に32種類のツツジが咲き誇る

戸時代後期から明治時代初期にかけての砧地域の農村風景を再現しています。また、「生きている古民家」をテーマにしており、囲炉裏には毎日火が焚かれ、家の中や軒下に置かれている民具は触れることもできます。農村に伝わる行事等も行っており、昔ながらの生活や風習を体験することができます。

### 烏山寺町界隈(烏山地域)

区の北西部に位置する烏山地域は他の地域と少し趣が違う楽しみがあります。

北烏山二丁目から六丁目にかけて、寺町通りを中心にみどりにつまれた場所には26もの寺院が軒を連ね、京都のようなまち並みを感じさせる烏山寺町があります。烏山寺町の成り立ちは、関東大震災(1923年・大正12年)の後、浅草、築地、本所、麻布などにあった寺院が移転してきたのが始まりです。

そのひとつひとつの寺院には趣のある庭園が整い、それぞれに季節感を楽しむことができます。

また、近隣には1000㎡の敷地に32種類のツツジが植樹された烏山つつじ緑地があり、春には、色とりどりのツツジが咲き誇ります。

### ◆散策の際に寄りたい場所 世田谷文学館

区にゆかりのある萩原朔太郎、森茉莉、小堀杏奴、芹沢光治良等の作家の原稿・初版本、書簡、愛用品等を展示するコレクション展に加え、年数回企画展を開催します。文学サロンでは講演会、コンサート、朗読会、映画上映を行うなど、生きた文学を体験できる場となっています。

### 世田谷のまちを散策してみよう

区ホームページ「世田谷の魅力」で紹介している「まちあるき おでかけ案内」や世田谷まちなか観光アプリ「世田谷ぶらっと」などを利用することで、今回紹介したまちの楽しみ方だけでなく、さまざまな視点から世田谷のまちの散策を楽しむことができます。日頃何気なく通り過ぎている身近な場所に、新たな発見があるかもしれません。